

# 教育研究業績書

2018年05月14日

所属：幼児教育学科

資格：講師

氏名：久米 裕紀子

研究分野	研究内容のキーワード
幼児教育学、保育学	保育指導法 幼児教育カリキュラム 保育実践研究 保育者論
学位	最終学歴
短期大学士（保育学）	聖和大学短期学部 保育学科 卒業

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要

<b>1 教育方法の実践例</b>		
1. 保育者としての専門性を養う	28年4月～現在	保育現場で求められる保育者の資質や専門性について学びレポートでまとめ、意見を交流する。幼稚園の生活や保育者の役割についてパワーポイントを使い、保育現場の写真・映像を通して講義を行い、子どもの年齢に合わせた実技を含めながら保育＝遊びの展開、保育者の専門性に迫り、保育者を目指し、一人の人としても向上していく意欲を高められるような授業となるよう取り組んでいる。
2. 保育現場での学びを確かにする	28年4月～現在	教育実習への心得をはじめ、現場で実際にいろいろなことを感じ、見て、行動できるように精神面での指導を行いながら、観察記録の書き方、保育指導案の立て方など、具体的に分かりやすく伝えていくよう努めている。実際の部分実習など個人的にも対応している。学生がどこに迷い、困っているのかを探りながら、自分の計画している保育の全体的イメージを感じ、保育指導案の細やかな立て方など、具体的に分かりやすく伝えていくよう努めている。自分の部分保育のイメージ、その保育でのねらいが明確に意識できるよう指導している。
3. 附属幼稚園・市立幼稚園との連携に基づいた実践演習「保育・教職実践演習」	28年4月～現在	大学「保育・教職実践演習」において、附属幼稚園・市立幼稚園との連携に基づいた保育実践演習を実施。本授業において学んだ幼児理解・保育者の役割・保育内容と方法（言葉の領域）・指導計画作成・保育展開等に関する事項を大学に各幼稚園の園児を招待し保育を実践する。学びを共有し、保育者を目指す熱意と自信につながるよう理論・演習・実践の統合を目指す。
4. 保育観察・保育実践に基づいた実践演習・実践研究「教育演習・卒業研究」	28年4月～現在	「教育演習」及び「卒業研究」では、市立幼稚園・附属幼稚園と連携を図り、保育観察及び保育実践に基づいた演習・実践研究を展開。観察記録、記録に基づく討議、資料作成、観察した実践につながる保育構想、保育実践（言葉の領域）、実践に基づいた学びを重視している。
5. 附属保育園・市立幼稚園と連携を図り、実践演習	28年4月～現在	短期大学部「保育・教職実践演習」において、附属幼稚園・市立幼稚園との連携に基づいた保育実践演習を実施。本授業において学んだ幼児理解・保育者の役割・保育内容と方法（言葉・環境・表現）・指導計画作成・保育展開等に関する事項を幼稚園に出向き実践し、理論・演習・実践の統合を目指す
6. 保育所保育指針・幼稚園教育要領に基づき保育指導を学ぶ	28年4月～現在	保育園・幼稚園・認定こども園などの教育過程について、各施設の特徴や保育理念やめざす子ども像について、保育所保育指針や幼稚園教育要領を元に、実践のレポートから、保育のねらいや内容に沿って、教師の援助が教育過程、保育案とどう結び付いているのか話し合い理解を深める。

<b>2 作成した教科書、教材</b>		
1. 小川圭子編著『保育者論—子どものかたわらに』（シリーズ 知のゆりかご）ISBN:978-4-86015-412-7	29年09月20日	『保育者論』—子どものかたわらに 【シリーズ知のゆりかご】小川圭子編 第10章「失敗」から学んでいく 第1節ベテランと新人の違い—事例から考える 第2節保育カンファレンスについて p152-160 柏まり 川村 高弘 栗岡 あけみ 鎮 朋子 大和 晴彦 久米 裕紀子など

<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
1. 篠山市幼稚園・こども園教育会、全体研修会講師	29年7月	篠山市幼稚園・こども園教育会、全体研修会講師
2. 進路ガイダンス講師	29年7月	県立有馬高等学校2年生の生徒を対象に模擬授業を2回実施。幼稚園における保育実践の映像をパワーポイントなどで見ながら、保育者という職業の魅力を伝えていった。折り紙などの実践的な遊びを取り入れ幼児教育への興味関心をもてる授業を展開した
3. 高大連携授業	29年6月	高大連携の一環として、武庫川女子大学附属高校3年生ELコース45名の生徒を対象に2回にわたって授業を実施。幼稚園における保育実践の映像をパワーポイントなどで見ながら、保育者という職業の魅力を伝えていった。ハンカチや折り紙などの実践的な遊びを取り入れたり、グループワークで討議を通したり、学びを深める授業を展開した。

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
4. 篠山市幼稚園教育会全体研修会の講師	29年5月	篠山市幼稚園教育会全体研修会の講師。「表現活動としての幼児教育～普段の指導の中から どう発表会(劇遊び)につなげるか～」について講話。
5. 教職実践演習のゲスト講師	29年2月	親和女子大学の教職実践演習のゲスト講師。「幼稚園における危機管理とは」パワーポイントによる講話。
6. 教職実践演習のゲスト講師	28年9月	親和女子大学の教職実践演習のゲスト講師。「幼稚園における危機管理とは」パワーポイントによる講話。
7. 進路ガイダンス講師	28年9月	北千里高等学校2年生の生徒を対象に模擬授業を2回実施。幼稚園における保育実践の映像をパワーポイントなどで見ながら、保育者という職業の魅力を伝えていった。折り紙などの実践的な遊びを取り入れ幼児教育への興味関心をもてる授業を展開した。
8. 進路ガイダンス講師	28年6月	姫路市立琴丘高等学校2年生の生徒を対象に模擬授業を2回実施。幼稚園における保育実践の映像をパワーポイントなどで見ながら、保育者という職業の魅力を伝えていった。折り紙などの実践的な遊びを取り入れ幼児教育への興味関心をもてる授業を展開した。
9. 教職実践演習のゲスト講師	28年2月	親和女子大学の教職実践演習のゲスト講師。「模擬保育に対する総評・指導案の立て方」・「幼稚園における危機管理」パワーポイントによる講話。アクティブラーニング型授業。
10. 教職実践演習のゲスト講師	27年8月	親和女子大学の教職実践演習「幼稚園における危機管理とは」パワーポイントによる講話。
11. 教職実践演習のゲスト講師	27年2月	親和女子大学の教職実践演習「幼稚園における危機管理とは」パワーポイントによる講話。
12. 親和女子大学の教職実践演習「幼稚園における危機管理とは」パワーポイントによる講話。	27年10月	武庫川女子大学の教職実践演習のゲスト講師。「幼稚園の遊び・生活について」パワーポイントによる講話。
13. 教職実践演習のゲスト講師	26年8月	親和女子大学の教職実践演習「季節に応じた制作活動」実技と講話。
14. 教職実践演習のゲスト講師	26年2月	親和女子大学の教職実践演習「模擬保育に対する総評・指導案の立て方」アクティブラーニング型授業をした。
15. 親和女子大学 非常勤講師	2018年4月1日 予定2019年3月31日	神戸親和女子大学通信教育部の非常勤講師として、保育内容の研究・言葉の指導を行う。
<b>4 その他</b>		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
<b>1 資格、免許</b>		
1. 幼稚園教諭二級免許状	57年3月	
2. 保育資格	57年3月	
3. 幼稚園教諭一種免許状	18年7月	
<b>2 特許等</b>		
<b>3 実務の経験を有する者についての特記事項</b>		
<b>4 その他</b>		
1. 芦屋市より勤続15周年表彰	9年11月	
2. 芦屋市より勤続34周年表彰	28年3月	
3. 関西幼稚園連合会より幼稚園勤続30年表彰	24年11月	
4. 芦屋市より勤続25周年表彰	18年11月	
5. 関西幼稚園連合会より幼稚園勤続20年表彰	13年11月	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>1 著書</b>				
1. 「思いやり、認めあう関係を」	共	21年12月	ジャパンマシニスト社 (144頁) 「ちいさい おおきい よわい つよい」	保育者が日常の保育の中で感じたこと、伝えたいことをまとめ記した。お互いに育ち合う信頼関係を築いていく大切さを「保育の視点」「教師の援助」「家庭との連携」「保育者としての感性」「事実と向き合う」「誠実に対応すること」などの学びを記した。(pp: 60～63執筆) 著者: 山田 真編、山田真、毛利子来、久米裕紀子
2. 『シリーズ知のゆりかご 保育者論』小川圭子編著	共	2017年8月 刊行予定	株式会社 みらい	新人保育者に向けての『保育者論』の教科書 第10章「失敗」から学んでいく 第1節ベテランと新人の違い―事例から考える 第2節保育カンファレンスについて p 164-170

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
<b>2 学位論文</b>				
<b>3 学術論文</b>				
1. 「子ども理解を探る保育・教職実践演習ー「にこにこタイム」の実践を通してー」	共	2018年3月刊行予定	武庫川女子大学 学校教育センター	保育・教職実践演習の授業では、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、必要に応じて不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようになることが期待される。教員像や到達目標等に照らして最終的に確認することができるよう、附属幼稚園の子どもたちを招いて保育を行う「にこにこタイム」を実施した。学生が主体的に連携する姿勢を導き、保育者としての自覚、意欲を育成することを目指した。自立し連携する教員の育成は、主体的に計画し、実行して取り組みにおいてこそ達成可能である。
<b>その他</b>				
<b>1. 学会ゲストスピーカー</b>				
<b>2. 学会発表</b>				
<b>3. 総説</b>				
<b>4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績</b>				
<b>5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等</b>				
1. 研究紀要「豊かに感じ生き生きと生活する幼児をめざして」	共	24年2月	芦屋市教育委員会、芦屋市立幼稚園研究会 (54頁)	芦屋市教育委員会指定幼稚園教育研究会を受け、「豊かに感じ生き生きと生活する幼児をめざして」を研究テーマに取り組んだ。協同する喜びを感じ、育ち合う仲間づくりについて、幼児が幼稚園の遊びの中で、発見したり、考えたりしながら、自己発揮し、友達とつながっていく保育内容や、環境構成など実践を通し、考察、課題を積み重ねた保育者の学びを紀要として作成してまとめた。(pp:1~6、pp:39~40執筆) 著者：村上洋子、田附俊一、久米裕紀子など
2. 「道徳性の芽生えを培う指導の在り方」ー幼児の規範意識を高めるためにー	共	20年3月	文部科学省委託 幼児教育改善・充実調査研究	文部科学省の委託を受け、「道徳性の芽生えを培う指導の在り方」ー幼児の規範意識を高めるためにーというテーマで研究を進めた。「よいことや悪いことを判断する力の育成」という視点で取り組んだ。幼稚園教育の中で道徳性の芽生えを培っていくことの大切さや日常の中で幼児が感じていること、気付いたことを道徳性の芽生えにつなげていく保育を展開し、何が育ったのかということを実践の中で検証し考察していった。(pp:20~23、pp:24~27執筆) 著者：柴ひろ、高橋弘美、登正子、久米裕紀子
3. 理数教育における『知』の連続性に基づく幼・小一貫「カリキュラム」の開発 基盤研究	共	20年3月	文部科学省委託事業	甲南女子大学・人間科学部教授 船越俊介氏の依頼により、幼稚園現場における「数量と形及び考える力」の育成に関わる実情・実践と保育者の基本的な考えを資料発表した。幼稚園教育要領の「環境」のねらい(3)に、身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、物の性質や数量文字などに対する感覚を豊かにすると記されている。幼稚園の生活や遊びの中で、そのことを取り入れている保育実践をまとめた。(pp:73~81執筆) 著者：船越俊介、上埜吉美、本多玲子、久米裕紀子
<b>6. 研究費の取得状況</b>				
<b>学会及び社会における活動等</b>				
年月日	事項			